

松ノ木内湖整備計画について



梅村 彦一 議員

問 松ノ木内湖管理運営委員会は、本年度淡水環境保全財団が提案した淡水環境保全事業助成に申請し採択を受けた。内容は昭和40年頃の松ノ木内湖の自然再生を目指し「松ノ木内湖整備構想」に沿って、観光や地域の活性化を図ろうとするものです。

答 産業経済部長
要である。市としての建設的な答弁を求める。



自然再生を目指す松ノ木内湖

答 産業経済部長
松ノ木内湖の整備につきましても、平成20年度に湖底の土壌調査を実施し、昨年度には住民協議会との意見交換を基に「松ノ木内湖基本計画」の取りまとめをさせていただきました。同内湖は、景観や歴史、生態学的にも有数の琵琶湖残存内湖の一つであり、本市の貴重な財産として将来にわたり健全な状態を保持し、次世代に引き継いでいかなければならないと考えています。国や県の助成制度の見直しの中、すぐなるハード整備は難しいのが現状ですが、関係者の皆様と保全に取り組む中で、一日でも早く事業採択が受けられるよう、国・県に働きかけを行ってまいりたいと考えています。

放映まで半年。県や長浜市では、浅井三姉妹の「ゆるキャラ」が誕生、また博覧会等の催事も決定。関係自治体は宣伝物を作成し、誘客活動を展開。当市も次女初を軸に、ゆかりの地として売り出すべきだ。取組みを伺う。

大河ドラマ「江〜姫たちの戦国」を いかしたまちづくりと取組みは



大日 翼 議員



高島総合病院屋上に掲げられた横断幕

答 産業経済部次長
大河ドラマ「江〜姫たちの戦国」をいかした、観光まちづくりを展開していきま

問 新交通バス体系について

議会及び審議会に提出された、次の点について伺う。

問 10月より本格運行。何故急ぐ。試験運行を実施し、声を聞くべし。

答 土木交通部長
新交通体系の定着を図ります

地域審議会や議会でも岐にわたり、議論頂いたご意見を基に検討

問 公共交通バスの21年度収支状況について。

答 21年度の収支割合は22・7%です。

問 当市の「地域公共交通会議」でも充分に審議、検討されるべきではないか。また議会に審議結果を公表すべきだ。

答 高島市地域公共交通会議の審議・合意を経て、運行手続を進めることとなります。結果については、議会等で報告させて頂きます。

指定管理者制度に関する課題と 公の意義を再確認する



石田 哲 議員

問 指定管理の契約更新を来年度に控え、現状を大いに反省し、新しいルールの構築が必要であると考案提案をする。

答 政策部長・総務部長
節減に重きを置き、過去の経過や地域への配慮が後回しになっていないか、こうした過去の反省をもとに、制度導入の基本的方針や制度運用ルールを定めた指定管理者制度運用指針に基づき、公平性、透明性を確保しながら慎重に検討します。

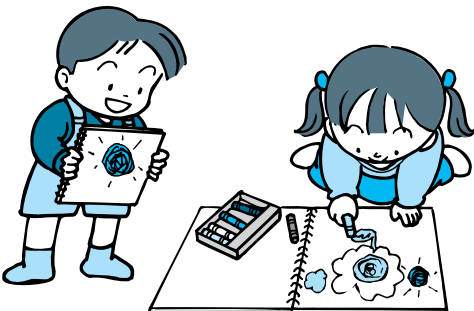
問 営利を目的とした施設は設備の減価償却制度を導入し施設の将来展望と新規投資が行えるシステムの構築。

答 政策部長・総務部長
節減に重きを置き、過去の経過や地域への配慮が後回しになっていないか、こうした過去の反省をもとに、制度導入の基本的方針や制度運用ルールを定めた指定管理者制度運用指針に基づき、公平性、透明性を確保しながら慎重に検討します。

問 営利を目的とした保育園・公民館など公益性の高い施設はガバナンスとしてその責任を全うすべきであり、安易に指定管理に移行しない。特に保育園の指定管理制度の適用は、高島の子育て支援対策や若者定住対策の面からも安易に走ってはならない。また正職と嘱託職員の率3対7の解消策として「準職員」

指定管理者の契約更新を来年度に控え、現状を大いに反省し、新しいルールの構築が必要であると考案提案をする。

収益施設については、指定管理者の提案により市へ収益を納付したく納付金制度を導入したいと考えています。指定管理者制度は、経費節減とサービス向上を目的に導入してきましたが、逼迫した市財政が背景にあり、経費



問 市教委は「適正基準に合わない」「複式学級が増える」などの理由でマキノ4小学校の統廃合を進めているが、全国には多くの小規模校・複式学級もあり、規模の大小によらず、個性を生かし人間性豊かな教育が行われている。また学校規模が小さいほど学力も高いことが世界的にも実証されている。北小保護者の多くが少人数の良さを実感しており、地域の中で、子どもを育てる最善の教育環境を提供すべきではないか。

答 主席教育次長
国際化や情報化等の変化の激しい社会を心豊かにたくましく生きる子どもを育てるには、子どもたちが直接多くの人と関わり、多様な価値観に触れ、多様な経験や知識を積むことが益々大切になってきます。統合により、多くの子どもたちどうしの学び合いや豊かな体験が生まれ、より確かな学力や豊かな心を培うことができます。本市の子どもたちの将来を見据えると、学校統廃合は必要不可欠であると考えています。

問 中庄駅から今津へ路線延長を

10月から実施予定のバス路線改正の際、中庄駅から今津方面まで路線延長し利用の拡大を図れ。また今津への運動公園線の増便と町外への乗り継ぎを一回の乗車とすべきだ。

答 土木交通部長
現在の在路線を含む4路線を基本的に運行することから、今津地域へは、総合運動公園線を利用頂きたいと考えます。なお、便数・乗り継ぎを含めたダイヤの調整を行っており、持続可能な交通体系の確立に努めます。

問 子宮頸がん予防ワクチン接種に助成を



利便性が求められるバス運行